

2026年度 出題意図 [理科基礎（化学基礎＋生物基礎）]

入試選考		実施日		問題番号	出題意図
総合型選抜	自己推薦入試A	2025年10月18日(土)	化学基礎	第1問	理論化学について、原子の構造、周期表、物質の三態、化学結合、分子の極性の基本概念を理解しているか確認する。
				第2問	溶液の濃度、化学反応の量的関係、中和滴定実験、酸・塩基、酸化還元滴定についての問題を通じて、基本概念の理解力や化学量論に基づく定量的思考力を確認する。
			生物基礎	第3問	生物の特徴および進化の過程、DNAの構造に関する基本概念を正しく理解しているかを確認することを目的とした。
				第4問	ヒトのからだの調節に関して、体外環境の変化と体温調節のしくみ、および、免疫の基本事項を正しく理解しているかを確認することを目的とした。
				第5問	生物の多様性と生態系に関して、環境汚染による生物濃縮、および、植生の遷移に関する基本事項を正しく理解しているかを確認することを目的とした。
総合型選抜	自己推薦入試B	2025年11月15日(土)	化学基礎	第1問	純物質と混合物、分離・精製法、原子の構造、物質とその成分と成分元素の検出、物質量、化学結合の基本概念を理解しているか確認する。
				第2問	溶液の濃度、酸と塩基、pH、酸化還元反応と量的関係、酸化還元滴定についての問題を通じて、基本概念の理解力や化学量論に基づく定量的思考力を確認する。
			生物基礎	第3問	生物の特徴に関して、生物の細胞構造の違い、および、遺伝情報の発現と翻訳の基本事項を正しく理解しているかを確認することを目的とした。細胞の体積と細胞小器官の体積から細胞あたりの細胞小器官の個数を見積もる計算問題を出題し、基本的な計算力を評価することを目的とした。
				第4問	ヒトの体内環境の調節に関して、自律神経系による調節機構および、体液に関する基本事項を正しく理解しているかを確認することを目的とした。
				第5問	生物の多様性と生態系に関して、遷移の進行と植生の変化および食物網の概要に関する資料から、資料を関連づけて読み取り、因果関係を説明できるか評価することを目的とした。
総合型選抜	自己推薦入試C	2025年12月13日(土)	化学基礎	第1問	純物質と混合物、化学結合、原子の構造、物質の三態、イオン、物質とその成分と成分元素の検出の基礎について、基本概念を理解しているか確認する。
				第2問	物質量、化学反応の量的関係、溶液の濃度、中和滴定実験、金属の酸化還元反応についての問題を通じて、基本概念の理解力や化学量論に基づく定量的思考力を確認する。
			生物基礎	第3問	生物の特徴に関して、ヒトゲノムおよび代謝（呼吸、エネルギー、酵素）に関する基本事項を正しく理解しているかを確認することを目的とした。
				第4問	ヒトの体内環境の調節に関して、免疫による生体防御機構および、血糖濃度の調節に関する基本事項を正しく理解しているかを確認することを目的とした。図やデータをもとに因果関係が説明できるか評価することを目的とした。
				第5問	生物の多様性と生態系に関して、日本のバイオームおよび、海洋生態系の季節変動を題材に、資料を関連づけて読み取り、因果関係を説明できるか評価することを目的とした。

2026年度 出題意図 [化学基礎／化学]

入試選考		実施日	問題番号	出題意図
総合型選抜	自己推薦入試D	2026年1月24日(土)	第1問	化学の基本概念を正確に理解し、用語や性質を論理的に区別する力を確認する。 純物質と混合物、物質の三態、分子の極性、イオン、分子量と組成式、成分元素など基礎事項に関する問題を通じて、概念間の関係を整理し、正しい判断を下せるかを確認する。
			第2問	物質量、溶液の濃度、化学反応の量的関係、酸・塩基の定義、pHの基本概念、中和滴定、酸化還元など、化学現象を数量的に処理する力を確認する。
			第3問	固体の構造、コロイドの性質、希薄溶液の性質、気体の性質など理論化学の基礎事項について理解力および図表の読み取りを通じて、単なる知識ではなく総合的な理解力を確認する。
			第4問	比熱の概念、化学エネルギーとエンタルピー変化、電気分解、平衡の移動、電離度とpHの関係などの理論化学の基礎事項について理解力を確認する。また、公式の暗記にとどまらず、条件設定から論理的に導く力を確認する。
一般選抜	一般入試A	2026年2月7日(土)	第1問	化学の基本概念を正確に理解し、用語や性質を論理的に区別する力を確認する。 原子の構造、分子の極性、混合物と純物質、同位体と同素体、化学結合、塩の性質、溶液の濃度など基礎事項に関する問題を通じて、概念間の関係を整理し、正しい判断を下せるかを確認する。
			第2問	化学反応の量的関係、物質量、中和滴定、電池、金属のイオン化傾向など、化学現象を数量的に処理する力を確認する。 中和滴定を通して実験操作や反応式の理解を前提とした計算問題を通じて、実践的な化学的思考力を確認する。
			第3問	水素結合、希薄溶液の性質、蒸気圧、ファラデーの法則、反応速度と平衡など理論化学の基礎事項について理解力を確認する。 また、公式の暗記にとどまらず、条件設定から論理的に導く力を確認する。
			第4問	元素の単体の性質、気体の生成とその捕集方法、金属イオンの分離と確認など、無機物質の基礎事項の関する問題を通じて、概念間の関係を整理し、正しい判断を下せるかを確認する。 分子式と構造異性体、有機化合物の構造と性質、有機化合物の反応特性を通じて、構造と性質の関連付けや論理的推論力を確認する。